

関西大学 経済・政治研究所

平成26年度

第4回 公開セミナー

事前申込不要
入場無料

市民自治力向上とアクション・リサーチ研究班 (AR研究班)

柳田国男と協同組合

柳田国男はなぜ「遠野物語」を書いたのか。

本セミナーでは、資本主義経済のもとで不可避免的に生起する貧富の格差を是正し、持続可能な社会経済システムを構築するために、農民に自助と協同の意義を説いた協同組合の思想家として柳田国男をふりかえり、その色あせることのない思想を通して「もうひとつの社会」を構想します。

<講師>

藤井 隆至

帝京大学経済学部・教授

1949年に兵庫県神戸市で誕生。東京大学経済学部、東京大学大学院経済学研究科で学んだあと、新潟大学大学院教授を経て、帝京大学教授。大学院のときから柳田国男を専門的に研究し、「日本における社会政策学派の一展開——柳田国男経世済民の学」で博士(経済学)を取得した。柳田国男の思想を「協同組合の思想家」という観点で体系化する点に特徴を有する。柳田は、日本の協同組合には自助と協同の精神が不足しているとの認識のもとで、江戸時代の農民の生き方を再認識・再評価しようとしたと把握する。

<コメンテーター>

村井 雅清

被災地NGO協働センター・代表

草郷 孝好

AR研究班主幹
関西大学社会学部・教授

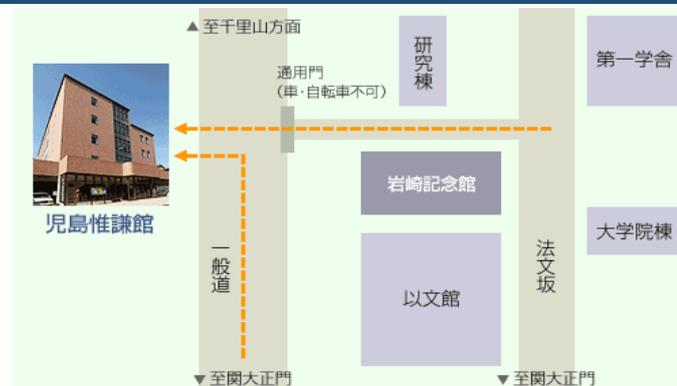
<司会>

宮本 匠

AR研究班委嘱研究員
京都大学防災研究所・特定研究員

日時: 平成26年11月7日 (金)
15:00~17:30

場所: 関西大学千里山キャンパス
児島惟謙館2階 第2会議室



関西大学



関西大学 研究所事務グループ

〒564-8680 吹田市山手町3-3-35

TEL 06-6368-1179 / FAX 06-6339-7721

<http://www.kansai-u.ac.jp/Keiseiken/>